

# 第14回 阿武隈川水系河川整備委員会

## 議事概要

開催日時：令和2年12月11日（金）10：00～12：00

開催場所：WEB会議

---

（発言者）●：委員、○：事務局

### <議事概要>

#### 1. 阿武隈川総合水系環境整備事業の再評価について

- 口頭で補足説明があった本宮のB/Cだが、他地区と比較して6.8と相対的に低くなっているが、整備が終わった直後でまだ本宮地区の利用が進んでいないためか。
  - 対象世帯数が少ないためである。
  
- 本宮地区の利用について、まつりのデータは出ているが、他のイベントデータがない。市や国が連携してかわまちの整備箇所を有効に活用するように進めていただきたい。
  - かわまちで整備した基盤をもとに、さらに利活用が推進されるよう取りくんで参る。
  
- アンケート調査票で設定している負担金の設定額は、他3地区と同じか。（配付資料：参考資料P29）
  - 設定金額は、CVMで費用対効果を分析した他2地区とほぼ同様である。異なる点は、金額設定の最後の設定額が、4,000円が3,000円となっているところだけである。
  
- 玉川村の支払い意思額356円・月／世帯の結果は、他の地区と比較してどうなのか。
  - 大きな相違はないと認識している。東北地整、北陸地整管内の平均値に近い結果となっている。
  
- 事業継続が妥当であることについては、異論がない。
  
- 口頭で補足説明があった本宮のB/Cだが、他地区と比較すると低い状況である。本宮地区については、地域外からアクセスする方法がたくさんあり、地元以外からの集客が多い場所と認識している。B/Cの算出にあたっては、来訪者の情報も含めた評価が必要だと考える。
  - B/Cの算出に際し、来訪者情報も含めた算定手法は、現行のルールには無いことである。いただいた意見については、上部機関とも相談させていただきたい。

●乙字ヶ滝周辺は、現状、寂しい印象を持つ場所、今回のかわまち事業には期待している。玉川村以外にも、周辺の市町村には観光地が多いため、各地区が連携して進めていただきたい。

○玉川村や利用者ともしっかり連携し、かわまち事業を進めていきたい。

●アンケート調査票では、様々な質問項目がある。各々の質問に対する回答について、集計・分析はしているか。また、他地区ではどうか。

○アンケートに記載された意見や要望の一部を口頭で説明。

他地区については、手元に資料はないが、いただいた意見・要望については、今後整備を進めるにあたっての参考にさせていただく。

●アンケートについて、データとして統計処理し、分析はしていないか。

○アンケート結果をしっかりと分析した上で、よりよい整備に努める。

●河川環境という観点から、外来魚の対策や啓発も必要なのではないか。

○阿武隈川には外来魚が多いということは認識している。普及啓発という観点からは、リーフレットの作成や看板の設置などを実施しているが、引き続きあらゆる取り組みを進めていきたい。

●工事期間中も漁協と密に連絡をとりながら進めた方が良い。

○了解した。

●費用対効果分析の「事業費」だが、この中に（玉川村が対応した）「用地取得費」は含まれているか。

○含まれていない。

●玉川村の用地取得する費用を含めないと、B/Cが正しく算定されず、B/Cが大きめな結果となる。また、整備イメージにある複合型水辺施設は、CVMアンケートの対象外の施設と認識しているが、アンケートにはその施設のイメージ図が載っているため、ミスリードしている可能性がある。このため「玉川村の複合型水辺施設」も含めて評価する必要があるのではないか。

○今後、事業評価を実施する上での参考とさせていただく。

●費用対効果分析については、全体事業費が小さいという点、またCVMの手法的にも限界があることから、算定には力を入れる必要は無いと考える。むしろ、用地費を事業費に入れるなど、事前に確認が必要だと思う。このほか、アンケート調査結果だが、性別や年齢によって、回答傾向が違うという点を丁寧に説明した方が良い。

○いただいた意見を踏まえ、今後環境整備事業の事業趣旨にのっとり、単に数字にこだわらず、事業性質を見据えたうえで、事業再評価に努めて参る。